

【施設効果事例】宮田No.2地区 急傾斜地崩壊防止施設 (静岡県御前崎市)

位置図



○令和4年7月7日から8日にかけての大雨によりがけ崩れが発生したが、静岡県による急傾斜地崩壊防止施設が整備されており崩壊土砂を捕捉。周辺人家等への被害を未然に防止した。

発生日 : 令和4年7月8日
 降雨状況 : 連続雨量 312mm (7月8日21時~8日24時)
 時間最大雨量 119mm (7月8日22時~23時)
おまえぎき みやた
 発生箇所 : 静岡県御前崎市 宮田No. 2
 捕捉量 : 約25m³

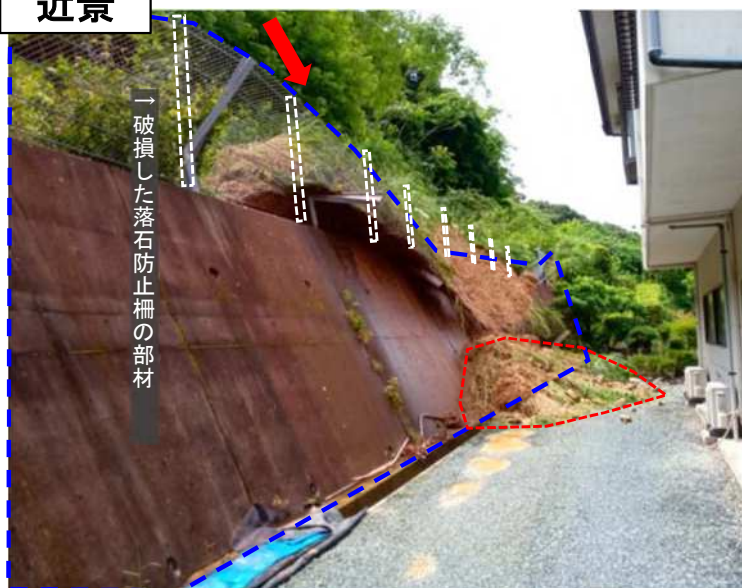
全景

がけ崩れ発生状況



急傾斜地崩壊防止施設
(落石防護柵及び擁壁)

近景



→破損した落石防護柵の部材

土砂抑制状況



※人家集落に被害無し

破損しつつも 擁壁の上部に設置された「落石防護柵」が崩落土砂を捕捉。家屋被害を防止した。